

—あおぞら—

会長就任にあたって

—全ての会員の参加，社会との対話・共働により大気環境学会の発展をめざします—

公益社団法人大気環境学会 会長
大原 利眞

第57回年会総会におきまして会長を拝命した大原利眞です。この場をお借りして所信を表明するとともに、学会員の皆様の御協力をお願いしたいと思います。

さて、我が国の大気汚染は、高度成長期の激甚な状態から改善されてきましたが、対流圏オゾン、微小粒子状物質PM_{2.5}、水銀、アスベスト、短寿命気候汚染物質SLCPなどなど、国内外の大気環境・大気質に係る環境問題は依然として重要な社会問題となっています。このような大気環境問題に取り組む大気環境学会の役割はますます大きくなっていると言えます。一方、設立から60年弱を経過してきた大気環境学会には多くの課題が山積しているのが現状であり、これから2年間、前執行部による様々な蓄積を踏まえ、課題解決に向けた取組を進めていきたいと思ひます。

今期のコンセプトとして、「大気環境分野での社会との対話・共働の推進」を提案します。学会から社会に対して、わかりやすい成果・情報発信をするとともに、行政や民間機関、NGO/NPO、外国の関係機関等と連携し、大気環境の改善をめざして一緒に行動していきたいと思ひます。本学会は3年後に60周年を迎えますので、この記念事業に取り組む中で、このコンセプトを実現していきたいと思ひます。一方、赤字体質からの脱却、財政基盤の強化は喫緊の課題であり、また、会員の減少傾向を食い止めることも重要です。これらに対する様々な個別の取組を更に進めるとともに、学会全体としての方向性を明示することにより、学会の基盤強化を図りたいと思ひます。

これらの取組を進めるために、これから2年間、以下の体制で学会運営を執行していきます。

副会長

近藤 明 (企画管理担当; 倫理委員会、年会担当)

畠山史郎 (学術研究担当; 学会賞選考委員会)

常任理事

伊豆田猛 (60周年記念事業担当)

大泉 毅 (総務担当、分科会・支部活動担当、広報委員会)

内藤季和 (産官学民連絡協議会、企画運営委員会)

中井里史 (財務担当)

速水 洋 (編集委員会、論文賞選考委員会)

松田和秀 (国際交流委員会)

理事

村尾直人、渡邊 明 (北海道・東北支部)

新田裕史 (関東支部)

長田和雄、皆巳幸也 (中部支部)

板野泰之、島 正之 (近畿支部)

大原真由美、樋口隆哉 (中国・四国支部)

岩本真二、鵜野伊津志 (九州支部)

監事

野口 泉

平木隆年

事務局

横田久司 (事務局長)

鈴木茂美 (事務局員)

(以上、敬称略)

このような執行体制により学会を運営していきますが、会員の皆様には、今すぐにでもできることに取り組んで下さるよう、願ひします。会費を期限内に納める、年会や支部などの行事に参加する、学会誌を読んで論文やお知らせを投稿する、周りの人を会員に勧誘する等々、現在の活動をもう一步進めて下さることにより、学会全体を強く大きくしていけるものと確信しています。

会員皆様の力をお借りして、次の一步を進めてまいりたいと思ひますので、御参加・御協力下さるよう宜しく願ひ致します。